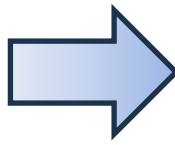


今年度の保健の授業 ～新しい教科書を使って～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

今年度から教科書が変わり、私が担当する保健では、3、5年生が新しい教科書に変わっています。表紙から新しい時代を意識したデザインに変わり、子どもの未来を意識して教育実践している私としては、とても嬉しいです。

4、6年生は、私が新しい教科書を持っているため。部分的に併用して授業を進めています。



<6年生>

6年生は「病気の予防」を取り扱います。今年は6月7日の授業参観日に「病気の起こり方」について授業を行いました。教科書には、

- ① 気づく・見つける
- ② 調べる・解決する
- ③ 深める・伝え合う
- ④ まとめる・生かす

と、4つのステップに分かれており、その通りに進めることも可能でした。ですが、この日は「教科書を使ってシンキングツールでまとめよう」といったことを課題にし、自分で学び方を選ぶようにしました。また私の方では、写真のように、ロイロノートで使うものを準備したり、新しい教科書のQRコードから活用できるものを紹介したりして、授業を始めました。意外だったのは、参観者の保護者の中に看護師など医療に関する専門の方が多くいたにもかかわらず、自分の力で調べようと、学習をしていたところでした。



学び方を選ぶ		
	メリット	デメリット
個人	集中 自分で解く力	わからないところが出てくる
ペア	意見交換ができる 話が深まる	いつも同じ人 1人で考えない時もある
グループ	いろいろな人の意見 深まる	1人で考える力▲
なかよしの人	話がしやすい	集中できない時もある
専門の人（保護者を含む）	答え、考え方を教えてもらえる	応用力、自分で考える力▲

私が準備し、配布（送信）したもの



● **かぜをひく要因** ●

①空気が急に低くなり空気がかんそうしていた。 ②周りに、かぜをひいている人が多かった。 ③雨にぬれて、体が冷えた。 ④さらいな。 ⑤残っていた。 ⑥寝ふかし。 ⑦ぬ冷えた。 ⑧うたとき、うがいをした。

かぜの病原体

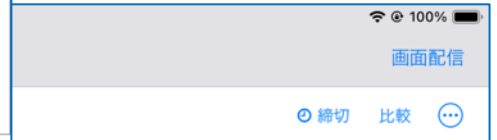
体のていこう力の低下

かぜをひく

環境の変化

健康に良くない生活行動

写真左は、新しい教科書のQRコードから読み取れるもの。
6年生にもなると、使い慣れたシンキングツールでまとめ、提出してくる子もたくさんいました。(写真下)



6月7日(金) 9:54

6月7日(金) 9:57

6月7日(金) 10:02

6月7日(金) 10:03

6月7日(金) 10:03

6月7日(金) 10:05

6月7日(金) 10:05

6月7日(金) 10:05

6月7日(金) 10:06

6月7日(金) 10:06

6月7日(金) 10:07

6月7日(金) 10:07

主体的、協働的に学習する6年生



「喫煙の害と健康」のところでは、今年もタバコ水と水道水を使ったカイワレ大根の成長実験を行いました。また、日本、韓国、台湾のタバコのパッケージの違いのことも、発展的学習として扱ってみました。Google レンズを使うと、日本語に訳してくれますので、子どもたちは興味深そうに見ていました。ここでは、学習のまとめとして教科書を使いました。

日本のタバコ



台湾のタバコ



韓国のタバコ



タバコ水のカイワレ大根



水道水のカイワレ大根



毎年、夏休み前に行う、タバコ水と水道水を使ったカイワレ大根の成長実験。一人ひとり行うことに意味があると思っています。

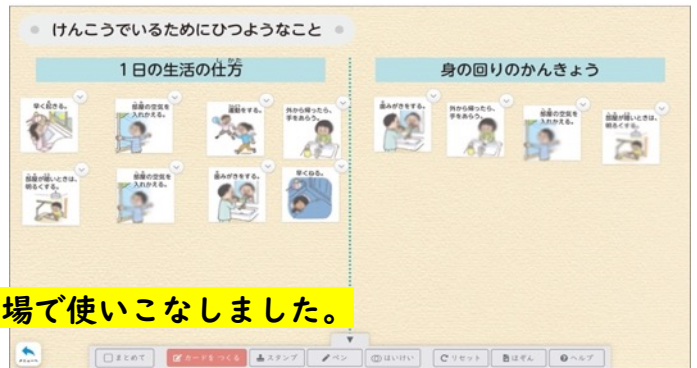
<3年生>

3年生では「健康な生活」の授業を行いました。本校では、どの授業でも、ロイロノートのシンキングツールをよく使っておりますが、今回、新しい教科書でQRコードから読み込むと、教科書会社が準備した思考ツールに繋がり、「うお〜」「すご〜い」といったどよめきが起こりました。

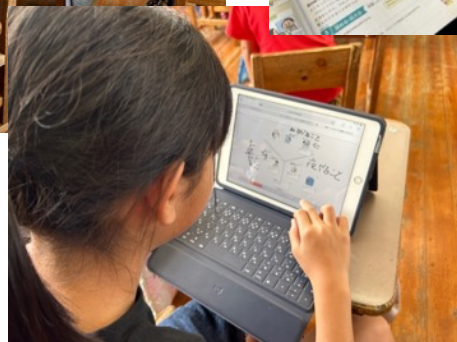
一人一台タブレット端末を積極的に活用していると、ロイロノートであろうが、教科書のものであろうが、多少型式が違っていても、子どもたちは、スムーズに対応できるものだなと感心しました。



ロイロノートのコンテンツ（写真左）と教科書のQRコードを読み取って使った、教科書会社の思考ツール（写真下三つ）

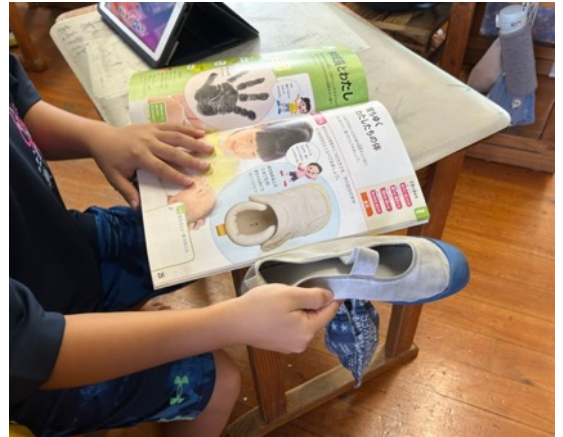


子どもたちはその場で使いこなしました。



<4年生>

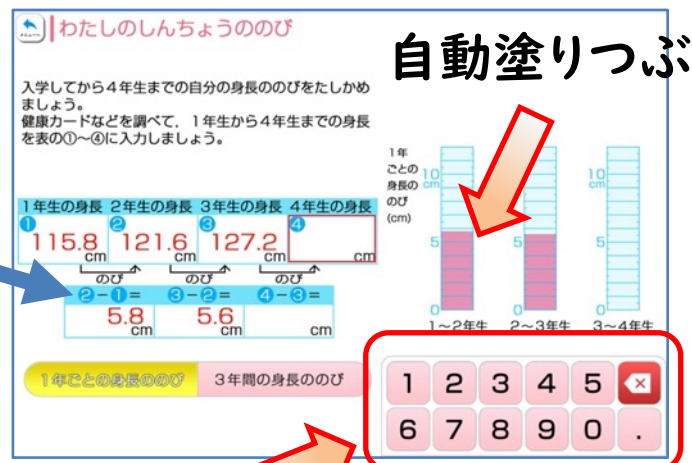
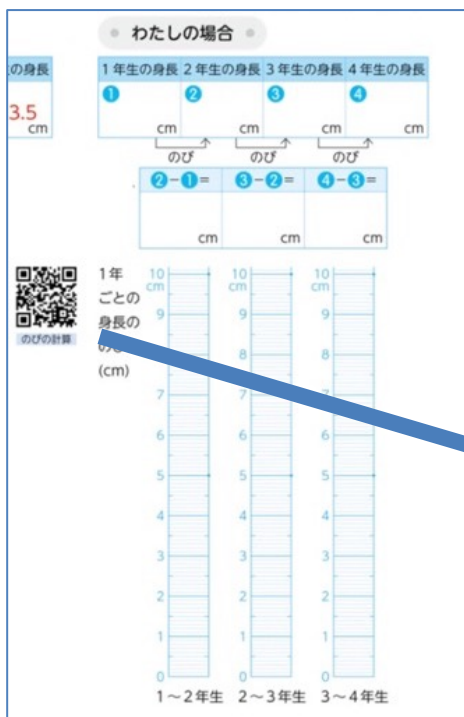
4年生では「体の発育・発達」の授業を行いました。この学年は、令和二年度から使われている古い方の教科書を使っている学年です。導入として、1才の頃の手形や1才の頃の靴を、今の自分の手や靴と比べるところから、どのくらい大きくなったかを感じてもらいました。



次に4年生までの1年毎にどのくらい身長が伸びたかを計算してもらい、体は年齢とともに発育し、体の発育する時期や変化する量は個人差があることを理解します。しかし毎年、計算に時間を要する子が出てくるため、思うように授業が進んでいませんでした。

そこで、新しい教科書にQRコードから読み取るデジタルコンテンツを使いました。驚いたのは、教科書と同じ様式のままで計算機が出てきたのです。

また、出てきたピンクの数字を入力すると、自動で計算してくれて、伸びの長さも自動で塗りつぶしてくれました。



入力

自動塗りつぶし



このような機能がついていたため、電卓をたくさん準備することも、計算の指導に苦勞することもなく、1年生から2年生までの伸び、2年生から3年生までの伸び、3年生から4年生までの伸びを、簡単に理解させることができました。

授業に時間的余裕が生まれたため、子どもたちは3色の紙テープで、身長を測って比べて、セロテープで繋いで一本にしたりして、3年間の成長を実感していました。

新しい教科書の機能（デジタルコンテンツ）を使った結果として、「急に伸びる時期がある」ということや、「個人差がある」という教科書でおさえる事項も、子どもたちは自分事として実践的に気づけたように思います。

これからも、今まで培ってきた自分の経験ばかりだけではなく、新しく導入された機能を確認し、使っていきながら、時代に合ったよりよい授業を追い求めていきたいです。